

# タウントーク



# あなたの街で



# 市長と語ろう!



今回は、厚別区・南区のタウントークの様をお伝えします。地域から多くの人が集まり、まちづくりや環境問題などについて、幅広い意見交換が行われました。

●タウントークに関するお問い合わせは、区役所（16ページ）の総務企画課が市民の声を聞く課☎211-2042へ。内容は、市長のホームページ<http://www.city.sapporo.jp/city/mayor/>からもご覧いただけます。

## 厚別区タウントーク 「市民の声が政策に反映されるまちづくり」

十二月十七日に区民センターで開催された厚別区タウントーク。夜間ということもあり、幅広い層の区民が参加しました。「市民活動の支援」など課題ごとに分類された中から、他区でも関心の高かった敬老パスをはじめとする十三項目について市長と直接意見交換を行いました。



◆参加者から（宮島勇さん）  
老人クラブの活動の場として、学校の空き教室を開放してください。

◆市長から 今後は、新しい施設を建設するよりも、知恵を活かして、既存の施設を有効利用していく必要があります。学校は地域のコミュニティ活動にとって有効な立地でもあり、空き教室の利用を促進していきたいと思っています。



◆参加者から（吉野純さん）  
地球温暖化防止のためのCO2対策として、町内会館などにも太陽光発電設備を普及促進し、地球に優しい札幌市を目指していただきたいです。

◆市長から 環境への取り組みは非常に大切な問題と捉えており、札幌市が一番進んでいると言われるようにしていきたいと思っています。来年度予算ではCO2対策を重視し、省エネや環境保全を普及させるための政策を打ち出していく考えです。

◆参加者から（齊藤敏弘さん）  
副都心の活性化のために、厚別区に総合的文化施設をつつてほしいです。

◆市長から 芸術・文化をはぐくむことは、札幌を本当に素晴らしい街に育てていくための力にもなります。建物をつくるためには、お金の問題に加え、自分たちの文化をつつていくのだという、しっかりと市民の合意形成が大切だと思います。

◆参加者から（大平寛さん）  
市長にとっても難しい問題だと思いますが、市役所改革は将来の札幌市のために大事なことと捉え、大胆に進めてほしいです。

◆市長から 「市民のために！挑戦する市役所」をキャッチフレーズに、市役所改革に取り組んでいます。たとえ難しい相談でも、きちんと市民と向き合つて話し、どのような解決策があるかを追求することが大切です。市民の皆さんから多くの意見をいただき、議論を重ねていきたいと思っています。